

「東日本大震災・原子力災害 第1回 学術研究集会」を開催しました

2023年3月27日

東日本大震災・原子力災害伝承館調査・研究部門の研究員を中心に、2023年3月16日(木)・17日(木)に、東日本大震災・原子力災害第1回学術研究集会を開催しました。

東日本大震災及び原子力災害に関わる研究者・大学院生等を中心に、伝承館などで実施した1日目のエクスカーションに57名、コラッセふくしまを会場にした2日目の研究報告会は73件の発表と166名の参加がありました。

出席者：高村館長、安田上級研究員、関谷上級研究員、開沼上級研究員、  
青砥常任研究員、葛西常任研究員、静間常任研究員、山田常任研究員

■概要

○開催日：

2023年3月16日(木)〈エクスカーション〉・17日(金)〈研究報告会〉

○開催場所：

〈エクスカーション〉

東日本大震災・原子力災害伝承館(福島県双葉郡双葉町)、震災遺構浪江町立請戸小学校  
(福島県双葉郡浪江町)、中間貯蔵施設(福島県双葉郡大熊町・同双葉町)

〈研究報告会〉

コラッセふくしま(福島県福島市)

○主催：

東日本大震災・原子力災害学術研究集会実行委員会

○共催・事務局：

東日本大震災・原子力災害伝承館、郡中トラベル(業務委託)

○後援(50音順)：

応用物理学会放射線分科会、地域安全学会、土木学会、日本原子力学会、日本災害情報学会、  
日本災害復興学会、日本自然災害学会、日本社会学会、日本社会情報学会、日本心理学会、  
日本地域経済学会、日本哲学会、日本リスク学会

○日程

【3月16日(木)】エクスカージョン

JR 東北線福島駅および JR 常磐線双葉駅集合に集合、「道の駅なみえ」で昼食をとったのちに伝承館へ移動しました。伝承館に到着した後、大型バス 2 台 (A グループ・B グループ)、中型バス 1 台 (C グループ) へ車両振分けを行い、3 グループの各コースに分かれて見学を行いました。

〈A グループ〉(解説員・青砥常任研究員)

12:45～13:45 伝承館  
14:00～14:30 請戸小学校  
15:00～16:00 中間貯蔵施設

〈B グループ〉(解説員・葛西常任研究員) :

13:00～13:30 請戸小学校  
14:00～15:00 中間貯蔵施設  
15:20～16:20 伝承館

〈C グループ〉(解説員・山田常任研究員) :

13:00～14:00 中間貯蔵施設  
14:20～15:20 伝承館  
15:30～16:00 請戸小学校

→17:50 福島駅解散



【画像 1】



【画像 2】

画像 1:バス車内で解説する葛西常任研究員

画像 2:伝承館へ到着しスタッフより説明を受ける参加者

【3月17日(金)】研究報告会

A・B・C・D の口頭発表会場およびポスターセッション会場にわかれ、〈事故・放射線影響〉・〈コミュニケーション〉・〈行政・産業〉・〈生活・コミュニティ〉のテーマごとにセッションを設けました。挨拶は高村昇・東日本大震災・原子力災害伝承館館長が A 会場より、内堀福島県知事がビデオメッセージにより、各会場を中継して放映しました。

- 09:20～ 受付
- 09:50～12:10 口頭発表(セッション 1)
- 12:10～12:20 挨拶(館長、内堀知事)
- 12:20～13:10 昼食休憩
- 13:10～14:50 口頭発表(セッション 2)
- 15:00～16:40 口頭発表(セッション 3)



【画像 3】



【画像 4】



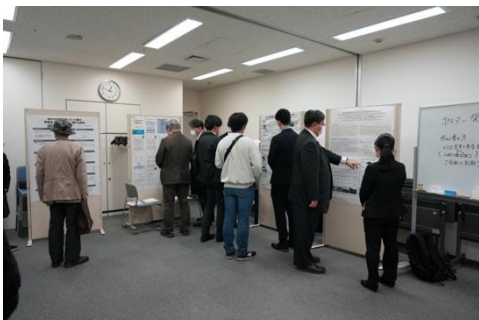
【画像 5】



【画像 6】



【画像 7】



【画像 8】

- 【画像 3】挨拶をする高村館長
- 【画像 4】座長を務める関谷上級研究員
- 【画像 5】報告を聞く安田上級研究員
- 【画像 6】報告をする青砥常任研究員
- 【画像 7】座長を務める開沼上級研究員
- 【画像 8】ポスター発表会場